

# 広島県観光DX推進事業

## 現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 広島県は、原爆ドームと厳島神社の2つの世界遺産があり、瀬戸内海や中国山地の豊かな自然や食も魅力的な地域である
- ・ 観光需要の回復に伴い、一部の主要観光施設においては、旅行者の入場の待ちが2時間以上発生し、予定変更をせざる得ない場合が生じるなど、利便性の低下や周遊促進の阻害要因となっている
- ・ 本事業では、OTA等のデジタルツールの活用により、主要観光施設等における生産性を向上させるとともに、事前予約・決済の完結により旅行者の待ち時間を削減し、利便性を向上させ、周遊を促進することで県全域での消費拡大を図る
- ・ 上記の取組を通じて、旅行者に快適な体験を提供し、満足度を向上させるとともに、広島県全域において、2つの世界遺産に頼らない観光地となることを目指す

## 事業概要

主要観光施設に対して、OTAを活用した予約・決済の完結やチケットのデジタル化を推進するほか、旅行者に向けたOTAの利用を促すための施策を通じて消費拡大に取り組む。さらに、県全体で、決済・人流・口コミデータ等を活用し、施設の業務改善や旅行者の県内周遊に繋がる施策等の事例創出とデジタル人材の育成に取り組む。

取組エリア: 広島県

コンソーシアム名: 広島県DX推進協議会

(代表事業者: 一般社団法人広島県観光連盟)

## 実証内容

1. 主要観光施設へのOTA導入による利便性、生産性向上
2. OTA利用促進施策・定着化による周遊促進・消費拡大
3. データ活用に基づいたマーケティング支援による再来訪促進等

## 目標値

KGI OTA決済による観光消費額(1,5億円)

KPI 主要観光施設へのOTA導入(10施設)

